

第10章 人生・人間

最後はいささか重いテーマではあるが「人生」と「人間」について考えたい。「人生」というと仰々しく聞こえるが、過去を振り返ったときの思い出であるとか、逆に今後の進路を考えたりすることである。換言すれば、我々の毎日の生活そのものである。ということは、これほど身近なテーマはないだろう。そして、その「人生」において欠かせないのが「人間関係」である。人との出会いは運命的な要素もあるが、そうした偶然を活用して、よい人間関係を構築していくことが充実した人生につながるのではないだろうか。

そういう意味では、皆さんがこの本と出会ったのも運命であろう。誰のシナリオか知らないが、人生とはうまくできているもので、ある事柄に本気で臨んでいるとき、タイミングよくその事柄に関する良書や人間と出会うことが多い。今この本をお読みの皆さんも、「まさにこういう本を自分は求めていた！」と一言頂ければ、著者としても作家(?) 冥利につぎるといふもの。著者としてもその運命を大切にすべく、読者の皆様の英語力の向上を心からお祈りしたいと思う。あと一息！ 頑張ってください！

【表現力チェック】

- 91. 「学生時代」を **school days** だと思っていないか？
- 92. 「似ている」という日本語から思いつく英語は？
- 93. 「本気である」は英語でどう言うのか？
- 94. 「人生の長さ」「人生の密度の濃さ」を英語でどう表現するか？
- 95. 「人生の真の味わい」を抽象名詞を使わずに表現できるか？
- 96. 「成功する」は **succeed**、「失敗」は **failure** でよいのか？
- 97. 「マイペースでいく」を直訳しても英語になるか？
- 98. 「いじめ」を英語で何と言うか？
- 99. 「海に浮いている氷のかたまり」を英語でどう表現するか？
- 100. 「東京に越してから半年後」という表現は身についたか？